

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	スノーボードスロープスタイル・ビッグエアにおける外傷・障害予防のための調査
倫理審査委員会承認番号	2023-025-2
研究開始日	2025年8月12日
研究終了日	2028年3月31日
研究目的	スノーボード競技のスロープスタイル（SS）およびビッグエア（BA）においては、競技中の怪我予防が重要な課題となっています。本研究は、SSBA選手の競技中の受傷実態と原因を明らかにし、効果的な怪我予防策を提案することを目的としています。
研究対象者	スノーボードSSBA選手
研究概要	本研究においては、Webベースのアンケート、または公益財団法人全日本スキー連盟が所有する受傷情報の提供にご協力いただき、競技歴や競技状況、今シーズンを含む過去3シーズンの間にケガの受傷があった場合には、その怪我に関する受傷時の詳細情報を調査いたします。また、受傷時の映像を保有しており、共有いただくことに同意をいただける場合には、映像の提供をお願いしております。提供いただいた映像は、ナショナルチームのスタッフ及びJISS研究員による受傷原因の分析に利用されます。収集した情報は、スノーボードSSBA選手において発生頻度の高い怪我の種類や重症度の分布についてまとめるための各種統計値の算出や原因調査のために利用します。
研究に用いる情報の種類	氏名、生年月日、性別、身長、体重、所属クラブ、練習拠点（夏&冬）、競技歴、スタンス、最高成績、競技レベル、練習日数、受傷の有無、受傷状況、診断名、受傷原因についての考察、受傷時のビデオ映像、
研究の資金源	スポーツ医・科学研究事業
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	稲葉優希／スポーツ科学研究部門
共同研究者	尾崎宏樹、石毛勇介、岩田理沙、ヘンダーソンフレデリック（以上、JISSスポーツ科学研究部門）、西田雄亮、高橋佐江子、高橋由衣（以上、JISSスポーツ医学研究部門）、山本悠介（日本スポーツ振興センター デジタル推進室）、岡元翔吾（東京科学大学スポーツ医師学診療センター）、小川まどか（東京科学大学 リバラルアーツ研究教育員）、木村新（法政大学 スポーツ健康学部）、大伴茉奈（桐蔭横浜大学）、覚張美咲（早稲田大学 スポーツ科学研究科）
問合せ先	稲葉優希・スポーツ科学研究部門・03-5963-0250・yuki.inaba@jpnssport.go.jp